



先日は雨の恵みの中、父母の会バザーの開催をありがとうございました。
怪我や事故もなく神様に守られたことに感謝いたします。

台風は困りますが、晴れもよし！雨もまたよし！と最近思えるようになりました。
それは長年の経験の中、父母の会バザーの申し送りと連携から、雨の日案を皆様が十分に検討し充実させて来られたお陰です。

「雨なら部活が休みになりバザーに来られるのだけど。」と毎年卒園生がつぶやきますが、今年も雨のお蔭で来ることが出来た人もいました。そんなお客様も少なくなかったと思います。勿論、逆の場合もあると思いますが、“神のなさることは時に適って美しい”という聖書の言葉が浮かびます。

持てる力が結集するとき、隠された力も発揮される素晴らしさをいつも父母の会活動を通し教えられます。バザー委員さんが楽しみながら企画運営をして下さり、それが会員皆さんに良い流れを作ってくくださったことにも感謝いたします。

支える会や卒園生ボランティア、ママポイズ、コンサートなど卒園生やその保護者のご協力がいただけることも、誇れる伝統であると思います。

誠に皆様、お疲れ様でした。その働きに神様からの祝福と労いがありますように。

さて、こちらは出来れば良いお天気であることを望みますが、長雨の日々、運動会ごっこは例年のように外でなかなかできません。しかし遊戯室でも保育室でも、出来ることで運動会ごっこを楽しむ子ども達をととても誇らしく思います。そんな様子を中心に“こどもニュース NO.10、NO.11”にてお伝えして参ります。よくお読みいただき、親子で思い切り楽しい運動会を過ごしましょう。

馬淵宣子

年長あつまり

バザー当日、エントランスに飾られた年長児の自画像は見ていただけましたか？ 年長さん一人ひとりが鏡を見て、自分の顔を観察しながら、描いたものです。

最近の年長あつまりから、自画像を描いた時の様子をお伝えします！



宿題

さて、自画像を描くにあたって、年長さんにはこんな宿題を出しました。

〈宿題〉

自画像を描くために、鏡が必要です。

鏡を何に使うのかをおうちの人に説明して、

似顔絵を描くのちょうどいいサイズのものを探してください！



お家で、お子さんはどのように説明したでしょうか。けれど、「お家で話をしたよ」「宿題できたよ！」と嬉しそうに教えてくれた年長さんが多くいました。

以前にもこどもニュースでお伝えしたように、今年度の年長あつまりでは“学校ごっこ”を取り入れています。あつまりの最初と最後には、「起立・礼」での挨拶をしますし、ホワイトボードに板書もします。そしてもちろん、宿題も出ます。

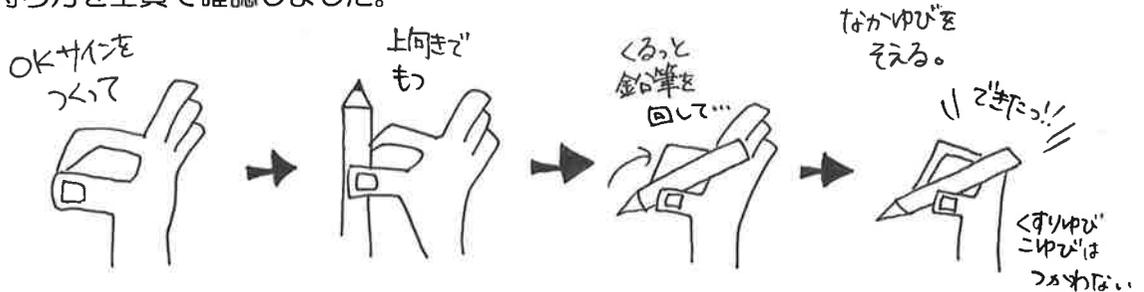
クラスのあつまりとは少し違った雰囲気、ちょっぴり恥ずかしそうな、けれどどこか誇らしそうな年長さん。それは、4月になったら小学生になることを、子どもたち自身も少なからず意識しているからだと思います。

小学校に向けた準備の一つとして宿題は、今後も取り入れていく予定です。あつまりのあった日には、お子さんに宿題についてぜひ訊いてみてくださいね！



鉛筆と消しゴム

鏡の準備をしてきて、「早く描こうよ!」とそわそわしていた子どもたち。しかし、ここで一つ問題が。それは、使う道具が鉛筆と消しゴムだということ。たかが鉛筆、されど鉛筆。既にお家で使い慣れている子もいますが、正しい鉛筆の持ち方を全員で確認しました。



持ち方についての説明をしっかりと聞いて、全員が正しく持つことができました。間違った持ち方は一度覚えてしまうと、正しい持ち方に直すことは大変です(覚えたことを一度忘れて、また覚え直すことになるので! 二度手間になってしまいます!)。今後、お家で鉛筆を使う際にも正しい持ち方を意識していただけたら、と思います。

鏡で観察!

自画像を描く前に、鏡でよく自分の顔を観察します。

「前髪、少しだけ前にある……描けるかな……」

「黒い点があるよ」「ほくろって言うんだよ」

「笑うと口の近くに線ができるんだ!」

「髪の毛って何本あるんだろ…1000本ぐらい?」「いや、もっとでしょ」かお?



今まで何気なく見てきた自分の顔も、あえてじっくりと観察することで発見がいっぱいでした。観察しては描き、描いては観察し……。時には、何度も何度も納得がいくまで描き直して……。

何度でも描き直せて、細かい線が描ける鉛筆を使ったからこそその作品です。消しゴムで消してある筆圧の跡も、子どもたちの観察の証なのです☆ 自画像を描いている中、いつもは子どもたちの声で溢れているあつまりが、“しん”と静まりました。子どもたちが集中しているからこそその現象です。自分の顔を描き上げる長い間、子どもたちは本当に集中しながら描いていて、その成長を感じました。

この自画像は、10月に開催される「もりやまふれあい彩祭り」でも飾る予定です。ぜひ見に行ってみてくださいね。

(ゆか)

ねんちゅう あつまり

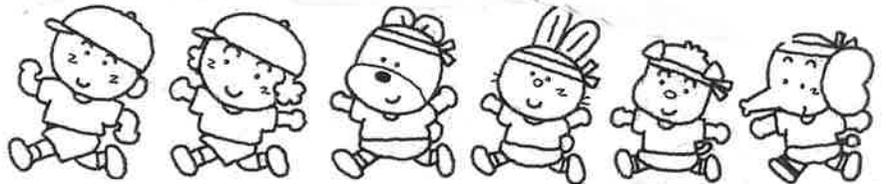
チーム分けをしました♪

1学期前半は、2つのグループに分かれて活動を行った『あつまり』。後半は、全員がひつじ・ぶどう組に集まって一緒に活動を行いました。新しいクラスのお友だちと仲良くなっていく姿は、『あつまり』の中でも垣間見ることができました。2学期、さらに友だち関係が深まり、広がっていきけるよう願いを込めて、各クラスを2つのチームに分けました♪

♡白チーム♡ あき先生

♡赤チーム♡ りな先生

◇かけっこ◇



走ることが大好きな子どもたち！朝の体操の後に、年中さん全員で『かけっこ』をしてみました。「いちについて よーい ピッ！」という合図と同時に、勢い良く駆け出していく子。周りを見ながらにこにこ嬉しそうに走っていく子。緊張した面持ちで必死に走り切った子。1番にゴールできなかったことを悔しがる子。ひとりひとり様々な姿がありました。

年中になると速い遅いなどの概念もでき、その成長が自分の走りとお友だちの走りを比較したり、ときに葛藤を生み出すこともあります。ひとつひとつ乗り越えていくことで、さらに成長していってくれることを願っています。

☆バザーの準備を手伝いました！☆

◇くるくる棒作り

上質紙の角からくるくると丸めていくのですが、細く作ることが難しく、太くなってしまい「うまくできない〜」「もっと細く作りたいのに…」と苦戦している子もちらほら。中には次から次へと細く上手に、職人技のように作っていく子もいました。細いものと、ちょっと太めなものと様々なるくる棒ができました。出来上がったくるくる棒を、お花屋さんで値札立て用として使ってもらい、子ども達も「あっ、私の作ったのがあった！」と自分で作ったものを使ってもらえることがとても嬉しかったようです。

◇エコボックス作り

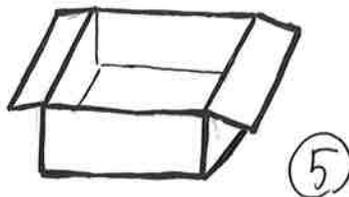
エコボックスの見本を見せると「あっ、それ焼き芋パーティーの時使った！」とよく覚えている子がいました。作り方を一つ一つ伝えたところ「できな〜い」「分からない〜」の声があちらこちらから聞こえてきて…。折り紙の経験をあまりしてこなかった子にはかなり難しかったようでした。しかしあつまり後、何人もの子がもう一回作ってみる！と挑戦し、何個も作っているうちに折り方を覚え、一人で作れるようになっていました。やはり何事も繰り返し経験することが大事なのだと改めて思いました。

そしてエコボックスを作った後は、待ちに待ったお菓子詰め。「どれとどれをいれようかな♪」「ほくこれ買いたい！」「このおせんべいだいすき」などなど、詰める時の子ども達の表情はどの子も目をキラキラさせて本当に嬉しそうでした☆

バザー当日は、大勢のお客さんに買ってもらい見事完売しました！年中さんの中には買いに来たけど売り切れてしまって、がっかりしていた子もいました。

自分たちで作ったものがお店で使われていたり売られていたり、人の為にお手伝いできたという経験をした事で、年少時の時とはまた違ったバザーとなったのではないのでしょうか。

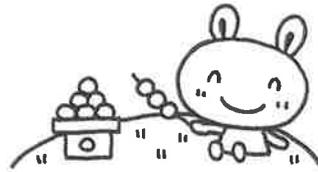
二学期もあつまりの中で、子ども達が様々なことに興味を持ち、経験できるように取り組んでいきたいと思ひます。



(Rina & Aki)

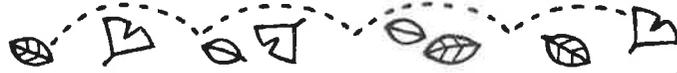


にじぐみ



2学期に入り新たに4名のお友だちを迎えたにじぐみさん。ますます賑やかになってきました。男の子が増えて遊びもパワーアップ！歌を歌う声や、絵本やパネルシアターを見て面白い場面での笑い声が一層大きくなって楽しさが何倍にもなっているようです。

防災訓練



防災訓練の前に北海道で大きな地震がありました。ニュースで見聞きした子どもたちもいたので、被災された方たちのことを思い、お祈りするとともに私たちにもいつでも起こりうる災害であることをお話しました。まだ小さなにじぐみさんには難しいお話だったかもしれませんが、しかし、紙芝居を見たり、避難するときの約束をするときは真剣な表情で聞いてくれました。

- 避難するときの約束は …
- お さない
 - は しらない
 - し やべらない
 - も どらない



頭の文字をとってお・は・し・もの約束です。にじぐみさんはここにもう一つ“なかない”も加えました。また自分の身は自分で守れるように、ふだんの遊びの中にも頭を隠して体を丸めるダンゴムシのポーズや煙を避けるための赤ちゃんハイハイなどを取り入れています。ふだんからこうした動きをしておくことによって、とっさのときにその動きがでて自分の身を守ることが出来たらと思います。是非おうちでも親子で楽しみながらやってみてくださいね。



楽しいドレスパーティー♪

ジェンダーフリーなにじぐみさんは男の子だってドレスを着て遊びます。ドレス＝パーティーのイメージから“ジャバ・ジャバ・ビバ・ドウ”という曲をかけてみるとこれがみんなのイメージにピッタリで大ヒット！“ドレス体操”と命名され、午後はひたすらこの曲をかけてみんなで走り回って踊ります。一人でくるくる回っていた子がいつか二人、三人と手をつないで輪になっていたり、友だちと手をつなぐのが恥ずかしかった子も自然に輪の中に入って楽しんでいる姿がとても嬉しいです。



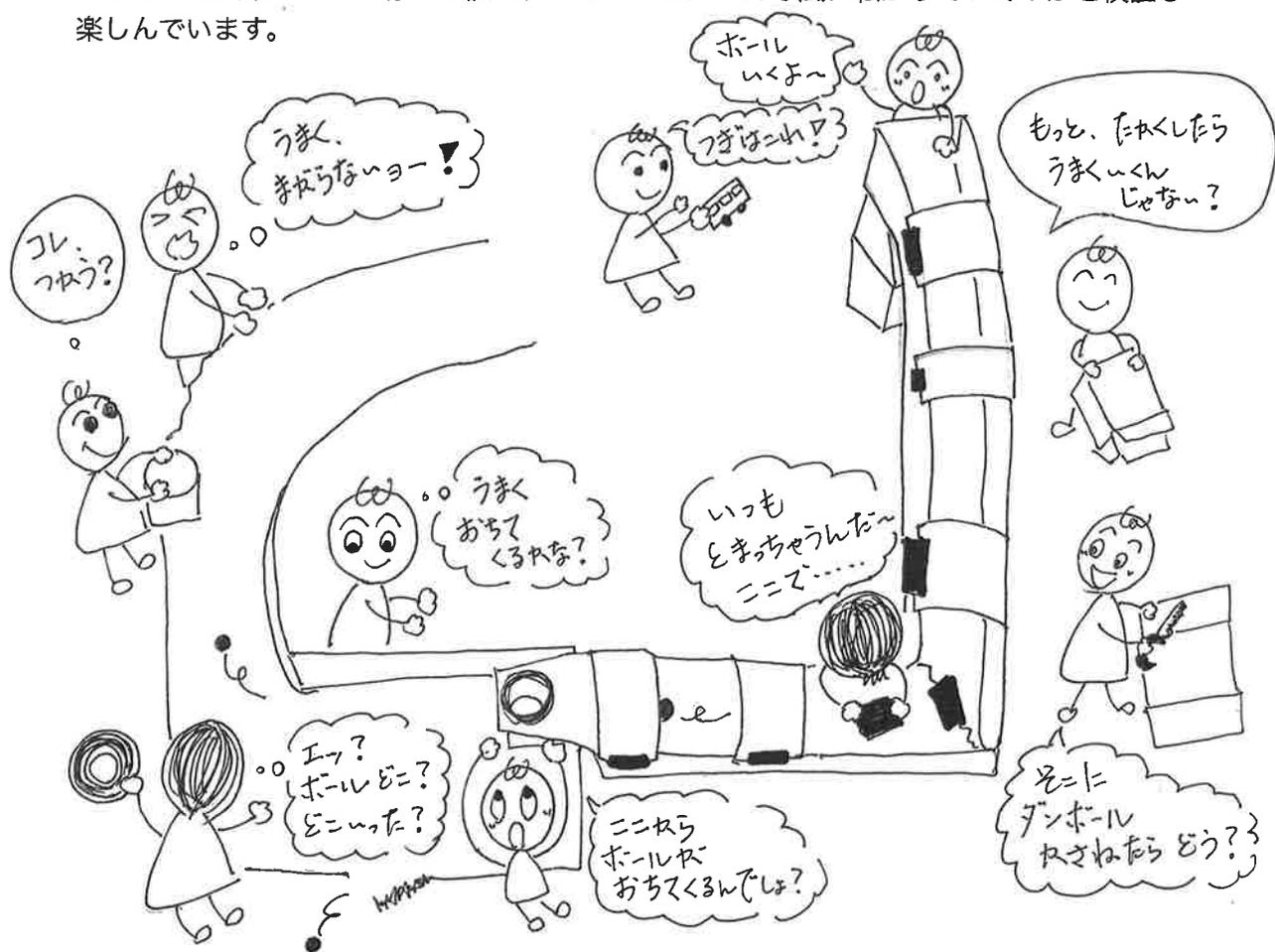
他にもタオルを使った運動遊びや変身遊びも楽しんでいます。これからもいろいろな遊びを通して、皆でその楽しさを共有して「友だちと一緒に遊ぶって楽しい！」という思いを心や体でいっぱい感じてほしいです。

『ころがる・ころがる』

暑い時期に雨樋を使って遊んでいた子ども達の様子は、以前にお伝えしました。その時、子ども達は水の流れやそこに置いた砂や石、泥の塊がどのように流れていくか、水量や雨樋の組み合わせ、角度などを変えて繰り返し試し、楽しんでいました。

9月に入り雨天続きだったころ、子ども達は段ボールやペーパー芯を駆使してコースを作りました。初めは単純に直線コースでスーパーボールを転がしていましたが、角を曲がるコースや落差をつけ落ちるコースなど徐々に変化のあるコースを作りあげてきました。

素材は変わりましたが、雨樋の時のようにどんな風にしたらスムーズに転がるかを試し、改良を重ねています。そして転がす物もスーパーボールからお手製の紙ボール、ミッキートレインの汽車・・・と様々に試し、一つひとつがどんな風に転がっていくのかを検証し楽しんでいきます。



動くものに興味を示すのは、どんな動物も共通だと思つづく思います。猫を飼っている私は、時折 転がる ボールを追う子ども達の動きが似ているなあ〜と思うことがあります。(一緒にしてごめんなさい(^_^)) ただ子ども達は転がるものを追うだけではなく、イメージした通りに転がっていくように知恵と知識を使い、繰り返し遊びながら更にイメージを膨らませ、より高度なことへチャレンジしています。最近では、スムーズに転がるカーブ作りに苦戦しているようです。(まさえ🐾)

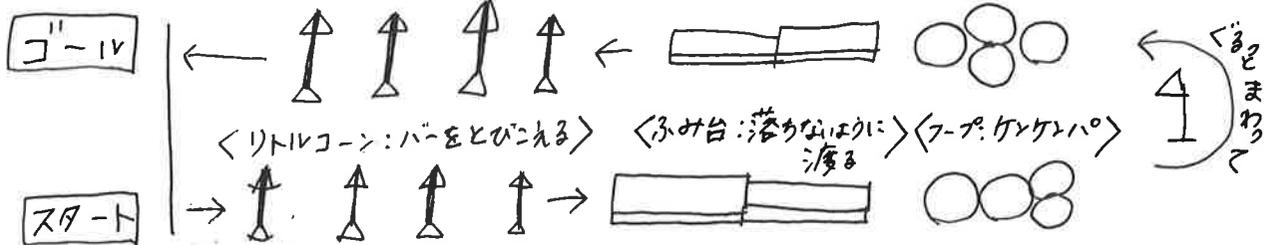
跳んで！渡って！走って！サーキット遊び☆

ここ最近、雨の日が続いていますが、そんな日は遊戯室でサーキット遊びを楽しんでいます♪

サーキット遊びとは……



！トルコーン、踏み台、フラフープ等を使ってコースを作り、1人ずつ走ります！



初めは、走って遊ぶことを楽しんでいた子どもたち。途中から「タイムを計りたい！」という声が出たので、ストップウォッチを使ってタイムトライアルをすることになりました！

そして、計ったタイムはホワイトボードに名前と一緒に書いています☆

タイムを計るとなると、子どもたちの顔つきが一気に真剣になりました。特に年長さんたちは、自分が一番速いタイムを出すぞ！と何回も何回も挑戦をしています。

「やったあ！僕1位だ！！」

「ああ～～抜かされた～！よし、次頑張るぞ！」

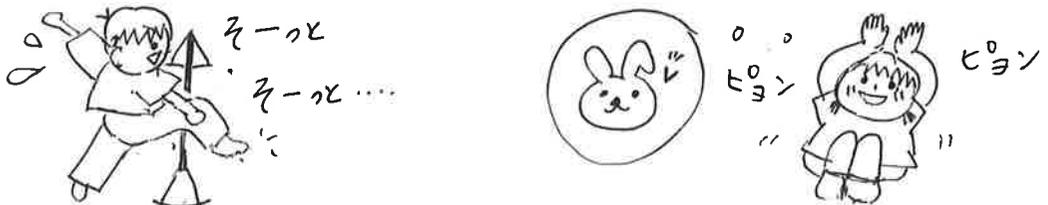
「〇〇くん速いな～！すごい！」



と、お互いに刺激しあいながら、サーキット遊びを楽しんでいます。

そんな年長さんの姿を見て「やってみたい！」と挑戦している年中さん、年少さんたち。

トルコーンを倒さないようにゆっくりと……と慎重になっている子や、フラフープをウサギになってピョンピョン飛んでいる子もいたり、一人ひとりが考えながらサーキット遊びを楽しんでいます♪



また、誰かがトルコーンを倒してしまったり、踏み台がずれてしまったら、サッと出てきて直してくれる“お助け隊”や、ストップウォッチを使ってタイムを計ってくれる“タイム係”がいます☆これは保育者がお願いした訳ではなく、子どもたちの“やりたい”という気持ちから、自然にでてきました。中には「旗をぐるっと回ってるところ、みんなわかりにくいみたいだから、もう少し旗を近づけてみるのはどう？」なんていうアドバイスをしてくれる子も！まるでコーチのようです♪

毎回、使う道具や配置などを少しずつ変えながら、新しいコースを作っています。次はどんなコースができるかな？！楽しみです♪

しょう	7.96	...
はな	10.09	...
たくや	9.31	...
あき	8.05	...

(あゆみ)

天高く馬肥ゆる秋

—としたいところですが、今年は酷暑にこの長雨で「天高く」なりません。

日本には「四季」があったのですが最近の気候はまるで「雨季」と「乾季」にわかれてしまったかの様で、次の世代に美しい環境を残せるのか、私達大人の責任を問われているようにも感じます。

そのような思いを持ちながら、子ども達には自分の身の回りのできごとにも目をむけてほしい...と願っています。

食育は先のこと。ふだん自分たちが口にしているものがどこから来るのか、どうやって育つのか、などに気づき大切に食べてほしいと思っています。



—というわけで 秋冬野菜を植えました!!



そうなんです。今回植えたのはどれも「アブラナ科」の野菜たち。

小さな苗の今、どれも同じみたい...でもだんだん生長していくとどうなるかな。その生長と変化を子ども達と楽しみながら観察していきたいと思います。ぜひ降園時など親子で見えて下さいね!

さらに詳しくゆくり観察したい! 生長のために子どもたちと水やりをしたい! とう方は「くるみスタッフ」でぜひどうぞ! 